

JVC

HDネットワークカメラ

レンズ一体型HDネットワークカメラ

型名

VN-H57B
VN-H37B
VN-H137B

取扱説明書(設置編)

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書(設置編)」(本書)と別冊の「安全上のご注意」、「取扱説明書(IP設定編)」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に別冊の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

本機の取り付け方は、裏面をご覧ください。

B5A-1482-00

安全上のご注意

本機に電源を供給するには、AC24 V 50 Hz/60 Hz (VN-H57)、または PoE (VN-H37、VN-H57、VN-H137)を利用します。正しい電圧でお使いください。
AC24 Vは必ず一次電源から絶縁されたものをお使いください(VN-H57)。
定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにご相談窓口へ連絡してください。
定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。速やかにご相談窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

この取扱説明書の見かた

本書では本機の設置に関する操作を説明します。

- ネットワークの基本設定については[取扱説明書(IP設定編)]をご覧ください。
- 画像やネットワークなどの設定については付属のCD-ROM内の[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。
- 最新の情報については、付属のCD-ROM内の"README"ファイルをご覧ください。
- 付属のCD-ROMには、[取扱説明書(設定編)](pdf)、[取扱説明書(SDカード機能設定編)]、[APIガイド](pdf)、[JVC-VN-検索ツール]、[JVC-VN-IP設定ツール]、[README](txt)が含まれています。
- 本文中では、VN-H37B、VN-H57BおよびVN-H137BをVN-H37、VN-H57、VN-H137と、"B"なしで表記しています。
- 最新の取扱説明書やファームウェアは、弊社ホームページの「ビジネス向け製品サービス」にてご確認ください。
http://www3.jvckenwood.com/

本文中の記号の見かた

-  **注意**：
-  **メモ**：
-  ：

本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、®などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のために予告なく変更することがあります。
- 本書では、VN-H57/VN-H37/VN-H137の機能を紹介しています。また、VN-H57の機能の場合、文末に(VN-H57)と記載しています。

添付物・付属品

保証書.....	1	[取扱説明書(設置編)](本書)	1
[安全上のご注意].....	1	[取扱説明書(IP設定編)]	1
		CD-ROM.....	1

ケーブルについて

● AC24 Vと接続する場合の電源ケーブルについて(参考値)(VN-H57)

導体直径(mm)	φ 1.0以上	φ 1.6以上	φ 2.0以上
最大接続距離(m) (参考値)	90	240	370

● LAN ケーブル(共通)

- HUBに接続する場合:
ストレートケーブルを使用してください。
- パソコンに接続する場合:
クロスケーブルを使用してください。
- ケーブルには、カテゴリー5以上のSTP(シールドケーブル)を推奨いたします。

ご注意

- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 各種ケーブルは、必ずカメラ用の電源を切ってから接続してください。
- PoEとAC24 V電源を同時に使うことは故障の原因になります。必ずどちらか一方で電源を供給してください。

ご注意

- パソコンによってはクロスケーブルを利用できない機種があります。本機をパソコンに接続するには事前にパソコンのLAN仕様をご確認ください。

● アラームケーブル(VN-H57)

- ケーブルには、長さ50 m以下のシールドケーブルを推奨いたします。

オーディオケーブルの接続 (VN-H57)

ミニジャックステレオケーブル(φ3.5) を接続します。

Rチャンネル(マイク入力) : プラグインパワー方式対応のコンデンサマイクなどと接続します。
Lチャンネル(ライン出力) : アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。

ご注意

- 外部マイクは、必ずRチャンネルのみに接続してください。マイクのジャックをそのまま本体の[AUDIO IN/OUT]端子に差し込んで使用すると、大きなノイズが発生することがあります。

メモ

- オーディオケーブルには、シールドケーブルを推奨いたします。
- ※オーディオケーブルの接続箇所は、[ケーブルを接続する]( 2ページ)をご覧ください。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について
この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について
保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他の詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

サービス窓口
・下記URLをご覧ください。
http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html
・カスタマーサポートセンター(045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先
修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

商品廃棄について
この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

© 2016 JVCKENWOOD Public & Industrial Systems Corporation

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

- 本機は屋内用カメラです。屋外で使用する場合は、ハウジングなどを使用してください。
- 次のような場所に置かない
誤動作や故障の原因となります。
 - 使用周囲温度(-10 ℃～50 ℃) 範囲外の暑いところや寒いところ
 - 許容動作湿度(20 %RH～90 %RH)範囲外の湿気の多いところ(結露なきこと)
 - 変圧器やモーターなど強い磁器を発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ほこりや砂の多いところ
 - 振動のあるところ
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - 厨房など蒸気や油分の多いところ
 - 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ
 - プールなど薬剤を使用するところ
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く)で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 熱のこもる場所に設置しない
本機は本体表面からも放熱を行っています。壁の近くなど熱のこもる場所に設置しないでください。

取り扱いについて

- 本機にぶら下がったり、ゆすったり、物を引っ掛けたりしないでください。
過度の荷重がかかると、本機が落下してけがや事故の原因となります。
- 機器を重ねて使用しない
お互いの熱やノイズの影響で誤動作したり故障したり、火災の原因となることがあります。
- 通風を妨げない
本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

著作権保護に関して

- お客様ご自身が、素材画像・音声の著作権者であるか、または素材画像・音声の著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像、音声として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像・音声として使用する際、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- 被写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、利用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。
- 録画(録音)したものは個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

免責について

- 動き検出機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した損害に対する責任は一切負いません。
- 本機のカメラ映像によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した損害に対する責任は一切負いません。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

画像調節時のモニター画像の出力について

エンコード設定によってはモニター出力がOFFとなっていることがあります。
その場合、フォーカスアシストボタンを5秒以上長押しすることでモニター出力可能となります。(V4.04 以降)この時[STATUS]表示灯は緑燈が交互に点滅します。燈色の点灯時間は緑より倍長くなります。
同時にフォーカスアシストモードになり、フォーカス調整がしやすくなります。
テストモニターを接続し、画角・フォーカス調整を行ってください。
調整が終わったら必ずフォーカスボタンを5秒以上押し、モニター出力モードを解除してください。[STATUS]表示灯が緑点燈していることを確認してください。
フォーカスの微調節をパソコンから自動で行う場合(VN-H57)、モニター出力モードを解除してから行ってください。
モニター出力モードの時、パソコンからエンコード設定の変更などは行わないでください。
電源を入れなおすとフォーカスボタン長押しする前の状態に戻ります。

修理を依頼されるときは
お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口に次のことをお知らせください。
品名：HDネットワークカメラ /
レンズ一体型HDネットワークカメラ
型名：VN-H57B / VN-H37B / VN-H137B
お買い上げ日：
故障の状況：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所、お名前、電話番号：

JVCケンウッド

カスタマーサポートセンター

固定電話



0120-2727-87

携帯電話・PHS



0570-010-114

一部のIP電話など

045-450-8950

FAX

045-450-2308

〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ

http://www3.jvckenwood.com/

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

B5A-1482-00

本機を取り付ける

ご注意

- 壁または天井に取り付けるには特別な注意が必要です。お客様による工事は避けて専門の工事業者にお任せください。本機が落下するとかげや事故の原因となります。
- 落下防止のため本機を強度のあるところ(天井スラブまたはチャンネル)に落下防止ワイヤーで接続してください。
- 天井への取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行ってください。

レンズを取り付ける (VN-H57、VN-H37)

ご注意

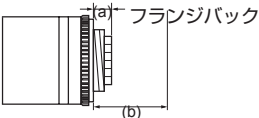
- メガピクセル対応のレンズをご使用ください。

1 レンズ取り付け前に使用レンズのマウント方式を確認する

- VN-H57、VN-H37はCSマウント専用です。
- 下図に示すレンズ取付部分の寸法(a)は下表に示した値のものを使用してください。

レンズ	フランジバック (b)	寸法 (a)
CSマウントレンズ	12.5 mm	5.5 mm以下

- 寸法(a)が長いものはカメラ内部を破損させたり、正常に取り付けができませんので、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。



2 レンズを時計方向に回してカメラにしっかり取り付ける

3 DC IRISレンズの場合、レンズケーブルを本体側面のIRIS端子に接続する

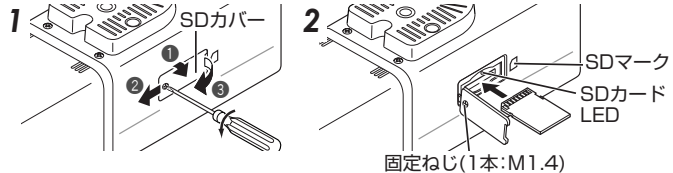
メモ

- VIDEO IRISレンズは使えません。
- レンズケーブルのプラグが異なる場合は、4ピンプラグを使用して接続します。[4ピンプラグ品番:SCV2859-001]
- 4ピンプラグについては、販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

SDカードを挿入する

ご注意

- SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。SDカードの差し込み口のSDマーク()に合わせて、正しい向きになっているか、必ず確認してください。



本機では、撮影した映像をカードスロット内のSDカード(別売)に記録できます。

1 固定ねじ(1か所)を3回程度ゆるめ、SDカバーを開ける

ご注意

- ねじは10回転以上すると脱落します。

- SDカバーのねじ側の端面を本体から浮かせます。
※ねじの先端を引けば浮かせることができます。
- SDカバーをねじ側にスライドさせます。
- SDカバーの切れ込みがある面を本体から浮かせて開けます。

2 カチッと音がするまでSDカードを差し込む

3 SDカバーを元に戻し、緩めた固定ねじを締める

メモ

- 取り出す時は、[取扱説明書(SDカード機能設定編)] → [SDカード記録] → [SDカード設定]にて、[不使用]にしてから取り出してください。SDカードを軽く奥に押し込んでください。ロックがはずれて取り出せます。

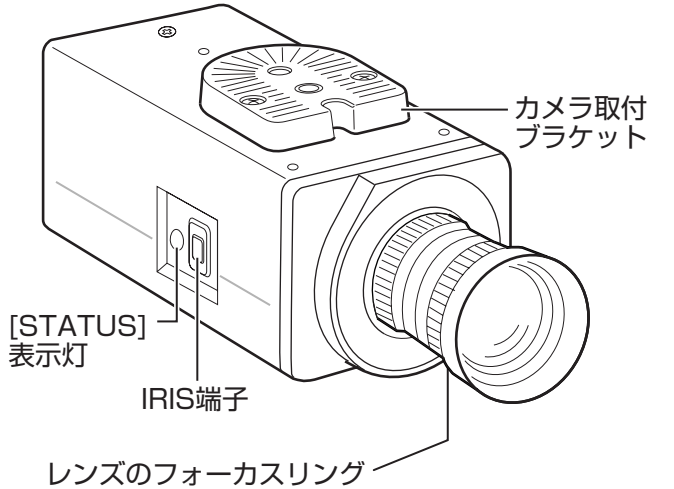
ご注意

- 市販のSDカードによっては、本体から取り出しにくいものがあります。何度か出し入れすると取り出しやすくなります。
- シールなどを貼らないでください。
- SDカードを取り出す場合、勢いよく飛び出ることがあります。失くさないよう十分に注意してください。

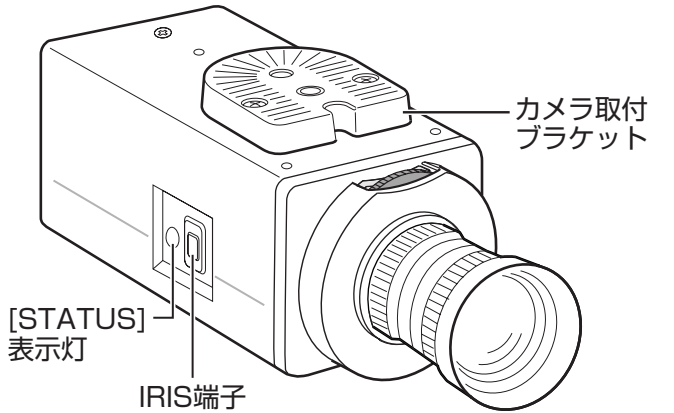
本機をフィクサーや回転台などに取り付ける

本機をフィクサーや回転台などに取り付ける場合は、カメラ取付ブラケットにあるカメラ取付用ねじ穴(1/4-20UNC)を使用します。高所に取り付ける場合は、落下防止ワイヤーを背面部の落下防止ワイヤー取付ねじに取り付けてください。

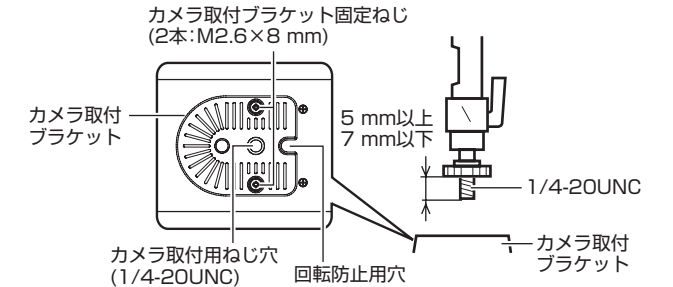
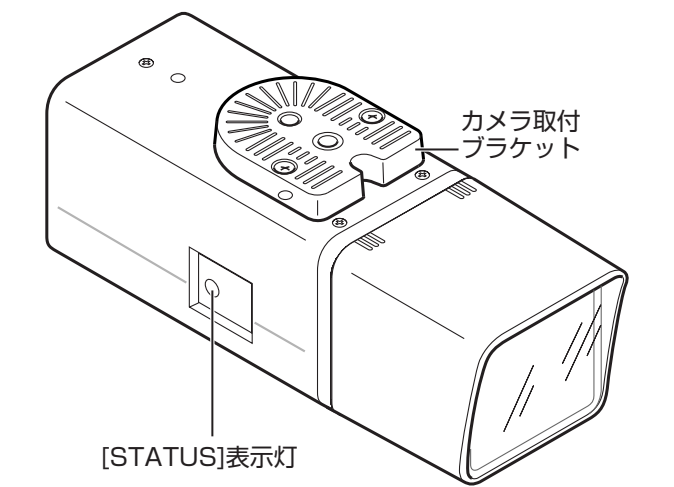
VN-H57



VN-H37



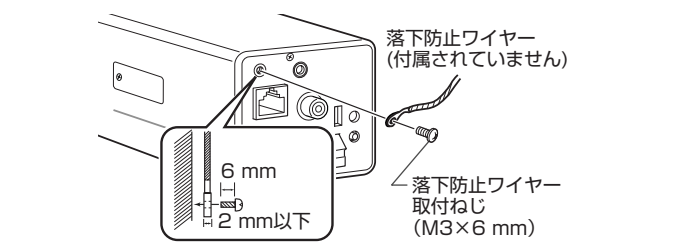
VN-H137



ご注意

- ねじは確実に固定してください。
- カメラ取付ブラケット固定ねじの長さは取り付け面より5 mm以上 7 mm以下のものを使用してください。指定の長さより長いねじを使用すると、内部を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

落下防止ワイヤーを取り付ける



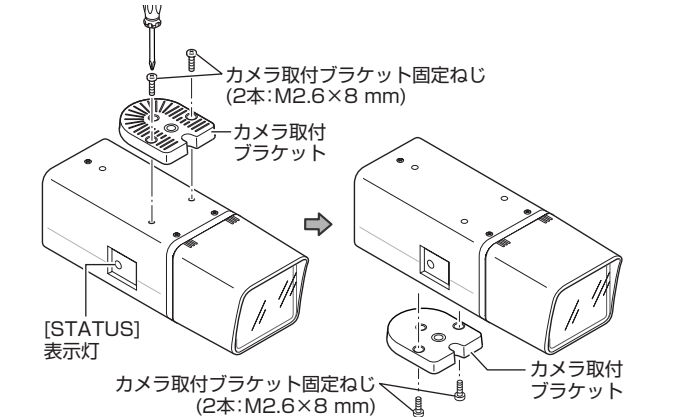
ご注意

- 落下防止ワイヤーは、長さ・強度などを十分考慮したものを使用してください。材質は絶縁材を使用してください。長さは取り付け可能な範囲で短くしてください。強度は本機質量およびレンズとフィクサーの総重量に十分に耐えるものを使用してください。(ワイヤー端の処理にも注意してください)
- 落下防止ワイヤーの取り付けは、本機背面のねじを利用してください。
- 落下防止ワイヤーは落下防止ワイヤー取付ねじで固定してください。本機背面のねじを使用しない場合は、指定の長さ(M3x6 mm)より長いねじを使用すると、本機内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

本機の下面にカメラ取付ブラケットを取り付ける場合

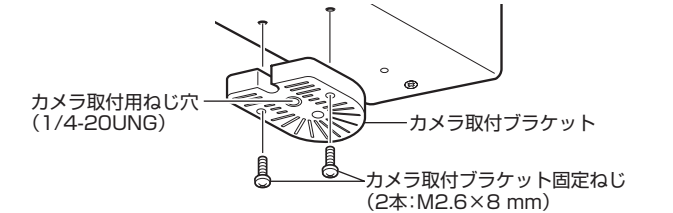
メモ

- 出荷時カメラ取付ブラケットは本機上面に取り付けられています。下面に付け換える場合は、カメラ取付ブラケット固定ねじ2本をはずして付け換えます。



ご注意

- カメラ取付ねじは、8 mm以下のものを使用してください。指定の長さより長いねじを使用すると、内部を破損する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。



同軸ケーブルにモニター映像信号出力端子を接続する (共通)

[MONITOR]端子にテストモニターを接続します。本機設置時の画角調節や、フォーカスアシストモードでフォーカスを調節する場合に使用します。ビデオケーブル(RCA)でビデオモニターなどと接続します。PAL用のモニターで見ると、[MONITOR]選択スイッチを"PAL"に切り換えたあと、[RESET]ボタンを押して再起動してください。

ご注意

- ケーブルが長いほど信号が減衰するため、解像度が低下し、ノイズがふえます。取り付けの際には、減衰量の少ないケーブルの利用を推奨いたします。
- [RESET]ボタンを5秒以上押し続けると、サービスモードになりますので5秒以上押し続けしないでください。

オーディオケーブルを接続する (VN-H57)

ミニジャックステレオケーブル(φ3.5)を[AUDIO IN/OUT]端子に接続します。オーディオケーブルの詳細については、[オーディオケーブルの接続] (P.1ページ)をご覧ください。

アラーム入出力端子を接続する (VN-H57)

ご注意

- 外来の雑音などにより、長さ50 m以下でも誤動作を起こす場合があります。その場合は、雑音源からケーブルを遠ざけるなどの処置を行ってください。
- アラーム端子のケーブルストッパー部は、はずれることがあります。ケーブルの取り付けは、ゆっくり確実に行ってください。

ケーブルを接続する

電源を接続する

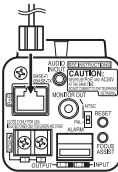
PoEを利用する場合 (共通)

- 電源はLANケーブルから供給します。PoE給電器を接続してください。
- 電源が供給されると、本機側面の[STATUS]表示灯が起動中はオレンジ色、起動後は緑色に点灯します。

メモ

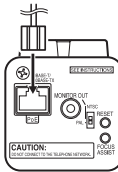
- 運用中点灯している[STATUS]表示灯を点灯させない設定もできます。設定については、付属のCD-ROM内の[取扱説明書(設定編)]を参照ください。
- 100BASE-TXをご使用の場合は、カテゴリ5以上のケーブルを推奨いたします。
- PoE給電器は、接地を確実にし、お使いください。

PoE給電器へ



VN-H57

PoE給電器へ



VN-H37/VN-H137

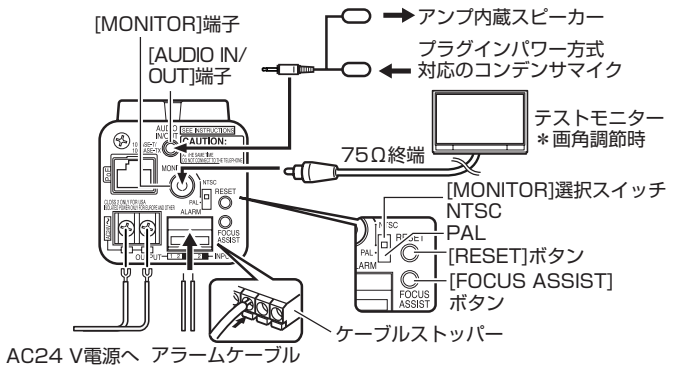
AC24 V電源を接続する場合 (VN-H57)

- TK-A241などの、AC24 V電源を用意してください。
- 電源が供給されると、側面部の[STATUS]表示灯が点灯します。

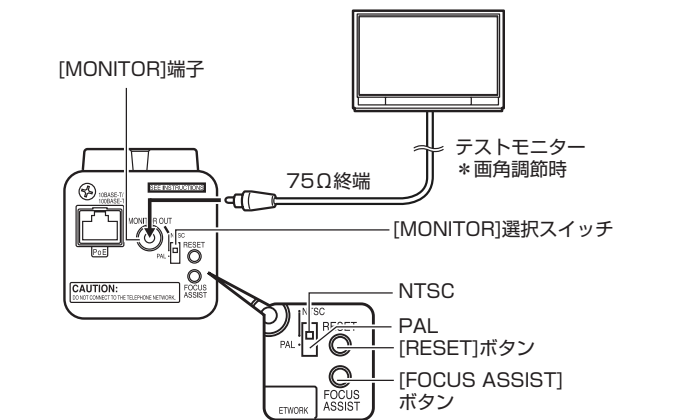
ご注意

- 必ず一次電源回路から絶縁されたAC24 Vを使用してください。スライダックなどを使用すると本機やシステムの故障・破損の原因となります。
- PoE とAC24 V 電源を同時に使うことは故障の原因になります。必ずどちらか一方で電源を供給してください。
- 電源ユニットにTK-A241 を使用する場合、接続可能台数は 最大 6台です。
- TK-A241 の取説も合わせてご覧ください。

VN-H57



VN-H37/VN-H137



電源を入れる

接続と取り付けがすべて終了した後、機器の電源を入れてください。起動中は[STATUS]表示灯がオレンジ色に点灯し、起動後は緑色に点灯します。

映像を調節する (VN-H137)

実際の映像を見ながら画角・フォーカス調節をします。

ご注意

- 本機を触る前に必ずモニター端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。静電気により本機が故障する場合があります。
- モニター画像が出力されない場合は、P1「画像調節時のモニター画像の出力について」を参照ください。

画角とフォーカスを調節する

1 レンズカバーをはずす

レンズカバーの目じるし(ABどちらか)を上下から押し、片方のつめを本機からはずした後、もう片方のつめを本機からはずします。

ご注意

- レンズカバーを強く引っ張らないでください。落下防止シートがはずれることがあります。
- レンズカバーを取り付けるとき、落下防止シートを挟み込まないように注意してください。
- レンズカバーをはずすとき、レンズにあたらないように真っ直ぐに引き出してください。レンズカバーがレンズに当たると、故障の原因になります。

2 カメラの撮影方向を調節する

撮影したい方向にカメラを向けます。

ご注意

- カメラの撮影方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。

3 画角を調節する

ズーム調節リングの固定ねじを緩め、リングを左右に動かし画像サイズを調節します。調節が終わったら、固定ねじをレンズ方向(被写体方向)に寄せて締めます。

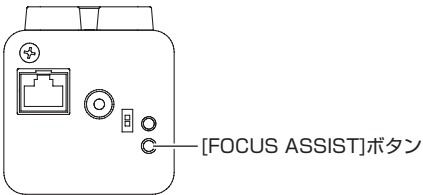
4 フォーカスを粗調節する

- フォーカスアジャストギアのつまみを持ちあげ、つめを図のCからはずしDに入れ、ギアのかみ合わせを解除します。
- フォーカス調節リングの固定ねじを緩め、左右に動かし、フォーカスを調節します。

ご注意

- ギアをDより外側に開きすぎた場合、破損を防ぐためギアの軸が軸受け(図中E)からはずれます。このような場合は軸を軸受けEに入れなおし、元の状態に戻してご使用ください。

フォーカスを微調節する



1 [FOCUS ASSIST] ボタンを押す

- フォーカスアシストモードになり、[STATUS]表示灯が緑色とオレンジ色の点灯を繰り返します。
- 絞りが開放になるとともに輪郭が強調されます。

2 被写体を撮影する

3 フォーカスを微調節する

つめを図のCに戻してから、フォーカスアジャストギアのつまみを回し、フォーカスを最適位置に調節します。

4 フォーカス調節リングを固定する

フォーカスアジャストギアを、図の矢印方向に指ではさんで押さえながら、フォーカス調節リングの固定ねじを締めます。

5 フォーカスアシストモードを解除する

- [FOCUS ASSIST]ボタンを押して、フォーカスアシストモードを解除すると、[STATUS]表示灯が緑色に点灯します。
- レンズカバーを取り付けます。

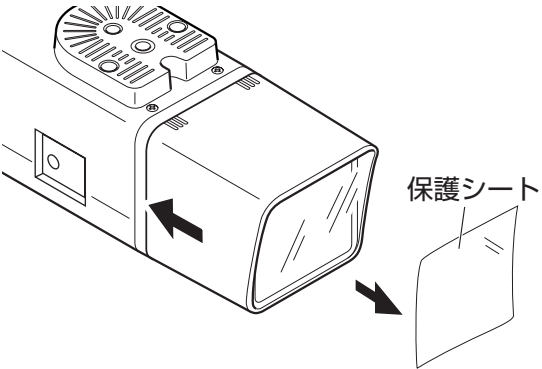
レンズカバーを取り付ける

1 レンズカバーを取り付ける

ご注意

- レンズカバーがレンズに当たらないように、注意して取り付けてください。レンズカバーがレンズに当たると、故障の原因になります。
- レンズカバーは確実に取り付けてください。

2 保護シートをはずす



映像を調節する (VN-H57、VN-H37)

実際の映像を見ながら画角・フォーカス調節をします。

ご注意

- カメラ本体を触る前に必ずモニター端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。静電気により本機が故障する場合があります。
- モニター画像が出力されない場合は、P1「画像調節時のモニター画像の出力について」を参照ください。

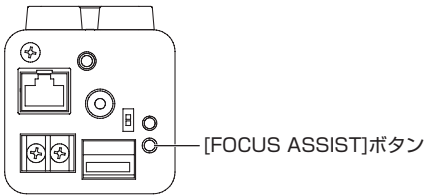
カメラの撮影方向を調節する

撮影したい方向にカメラを向けます。

ご注意

- カメラの撮影方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。

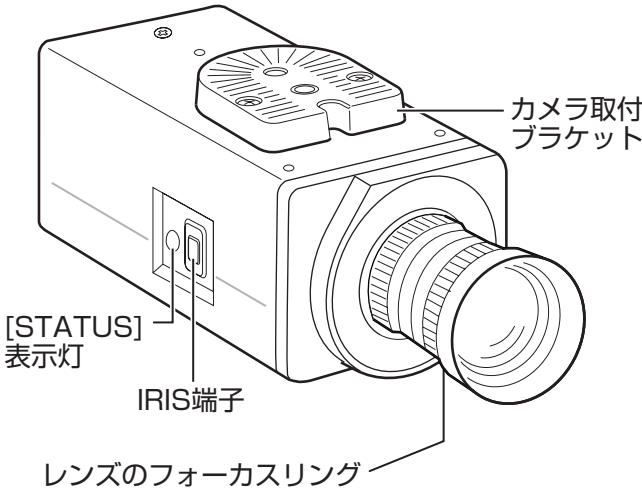
画角とフォーカスを調節する



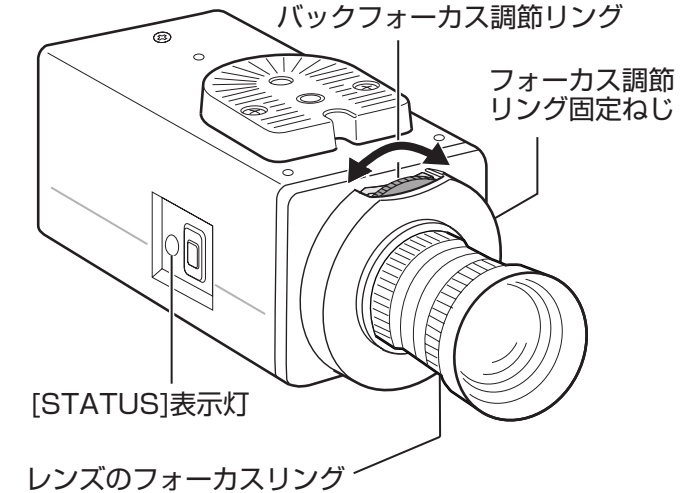
1 被写体を撮影し[FOCUS ASSIST] ボタンを押す

- フォーカスアシストモードになり、[STATUS]表示灯が緑色とオレンジ色の点灯を繰り返します。

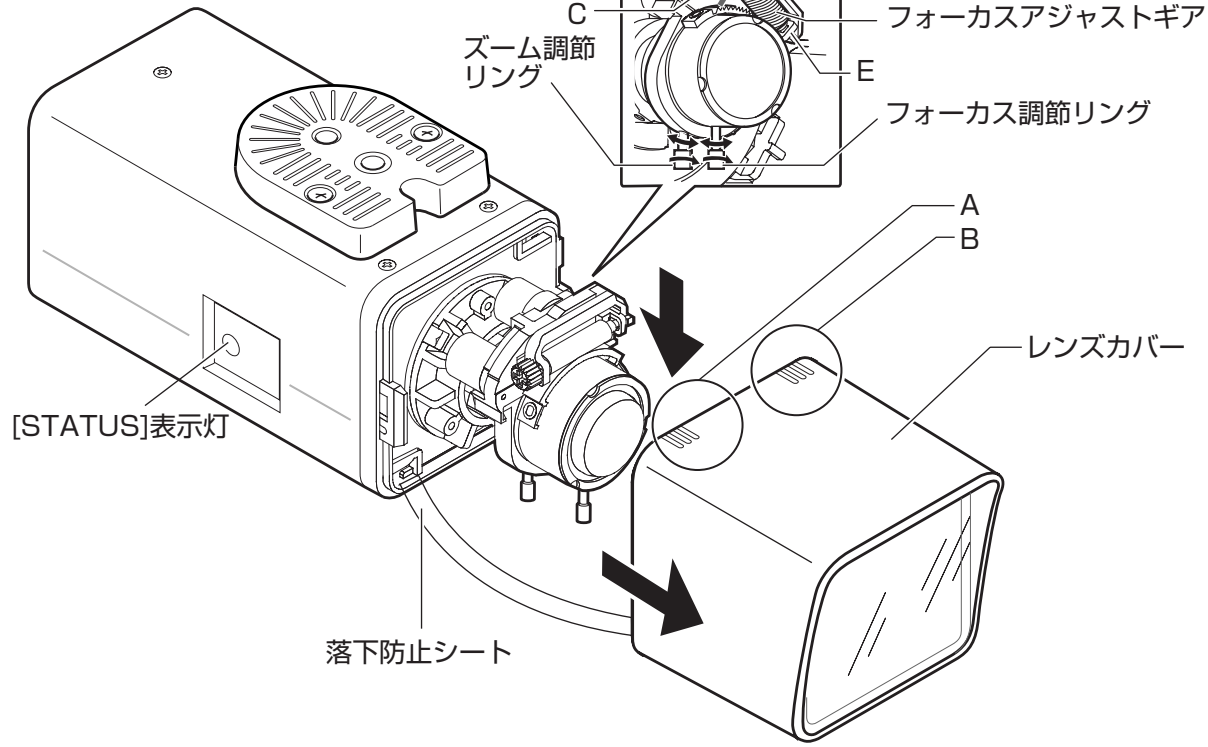
VN-H57



VN-H37



VN-H137



2 レンズのフォーカスを調節する

VN-H37

- カメラをパソコンに接続し、統合ビューワーを開きます。
 - パソコンの設定、カメラとの接続の方法については、[取扱説明書(IP設定編)]をご覧ください。
- 詳細設定の[メンテナンス]ページの[レンズタイプ]を選択します。
 - レンズタイプの詳細は、付属のCD-ROM内の[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。
- カメラを被写体に向け、レンズのズーム・フォーカスを調節します。レンズのフォーカスが合わない場合は下記の手順でカメラのバックフォーカスの調節を行ったあと、再度レンズのフォーカスを調節して下さい。

バックフォーカス調節

- プラスドライバを使用してバックフォーカスの固定ねじをゆるめます。
- 撮影する被写体より遠くにある細かい構造を撮影します。
- バックフォーカスを調節します。

固定フォーカスレンズの場合

- レンズのフォーカスリングを ∞ 位置にします。
- バックフォーカス調節リングを回し、フォーカスの調節を行います。

ズームレンズの場合

- レンズを望遠位置にズームし、レンズのフォーカス調節リングを回し、フォーカスを調節します。
 - レンズを広角位置にズームし、バックフォーカス調節リングを回し、フォーカスを調節します。
- バックフォーカスの固定ねじを回して締め、確実に固定します。
 - [FOCUS ASSIST]ボタンを押し、フォーカスアシストモードを解除します。

VN-H57

- レンズのフォーカスリングを回し、フォーカスの調節を行います。
- 調節が終わったらレンズのフォーカスを固定します。
- [FOCUS ASSIST]ボタンを押し、フォーカスアシストモードを解除します。
- カメラをパソコンに接続し、統合ビューワーを開きます。
 - パソコンの設定、カメラとの接続の方法については、[取扱説明書(IP設定編)]をご覧ください。
- 詳細設定の[メンテナンス]ページの[レンズタイプ]を選択します。
 - レンズタイプの詳細は、付属のCD-ROM内の[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。
- 詳細設定の[フォーカス]ページの[デフォーカス調整]を実行します。
 - バックフォーカス位置が自動で調節されます。バックフォーカスの位置を調節することでフォーカスの微調節を行います。
 - バックフォーカスの詳細は、[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。

ご注意

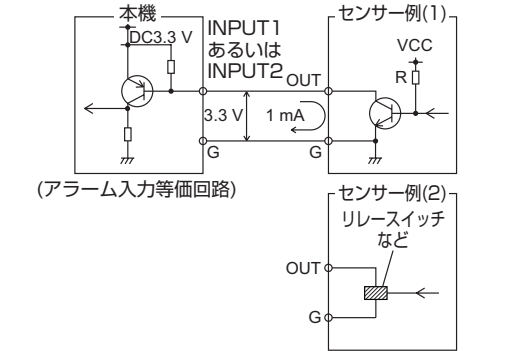
- 次のような場所を撮影する場合はフォーカスを自動で合わせにくいことがあります。
 - 極端に明るい場所
 - 極端に暗い場所
 - 明るさが常に変化している場所(ライトの点滅・人が画面を横切るなど)
 - コントラストがほとんどない場所
 - 繰り返しの縦じまパターンがある場合
- フォーカス位置は、カメラと接続するパソコンの統合ビューワーから手動調節することもできます。(※ [取扱説明書(設定編)])自動で合わせにくい場合に、お使いください。
- フォーカスの自動調整を実行した後別のレンズに交換した場合は、[フォーカス]ページのバックフォーカス位置初期化を実行した後、手順1からフォーカス調節を行ってください。
- 自動調整でフォーカスがあいにくい場合は、[フォーカス]ページのマニュアルフォーカスを実行し、手動で最適な位置にフォーカスを調節してください。
- ズームレンズをお使いの場合は、レンズのフォーカスを合わせた後、ズームの範囲内で最適になるよう、マニュアルフォーカスでフォーカスを調節してください。

アラーム入出力ケーブルの接続 (VN-H57)

アラーム入力
赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。

- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。
- 電圧を供給しないでください。
- メニュー設定で接点がショート(MAKE)時にアラームとするか、接点がオープン(BREAK)時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は最低でも500 ms以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。

- **入力条件**
- 無電圧a接点またはオープンコレクター出力回路を接続(極性の設定方法は、[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。)
- ローレベル端子電流 1 mA以下
- ハイレベル端子電圧 3.3 V

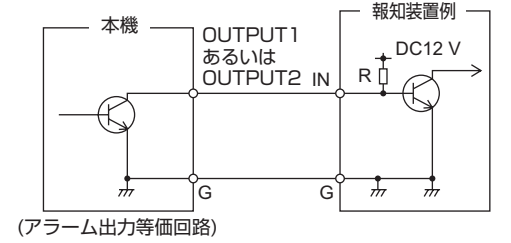


※アラーム入出力ケーブルの接続については、[ケーブルを接続する] (☞ 2ページ) をご覧ください。

アラーム出力
報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。

- アラーム出力信号はオープンコレクター出力となっており、メニュー設定でアラーム時の接点をショート(MAKE)とするかオープン(BREAK)とするかを設定可能です。(耐圧16 V、30 mA以下)
- この端子は、極性があります。必ず－側出力より＋側出力の電圧が高くなるよう接続してください。逆電圧を加えると破損します。

- **出力条件**
- NPNオープンコレクター出力相当(出力論理の設定方法は[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。)
- 許容印加電圧: DC16 V以下
- 許容流入電流: 30 mA
- モーメンタリ(100 ms～5000 ms)出力(時間の設定方法は[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。)



- **ご注意**
- 本機G端子ケーブルと報知装置のGNDを接続してください。

SDカードについて

本機では、撮影した映像をカードスロット内のSDカード(別売)に記録します。

メモ

- ご使用前に必ず本機にSDカードを挿入しフォーマットしてください。フォーマットは本機にパソコンを接続し、[取扱説明書(SDカード機能設定編)] → [SDカード記録] → [SDカード設定]にて行います。本機以外でフォーマットしたSDカードはご使用になれません。

SDカードの取り扱いについて

- カードスロットに異物などを入れないでください。
- カードスロットのカバーを開けた状態で長時間放置しないでください。内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。
- 挿入方法を間違えると、本機やSD カードの故障の原因となります。
- 万一の事故による保存データの損害は、弊社で一切の責任を負わないものとします。(データのバックアップをおねがいいたします。)
- SDカード端子金属部に触らないでください。

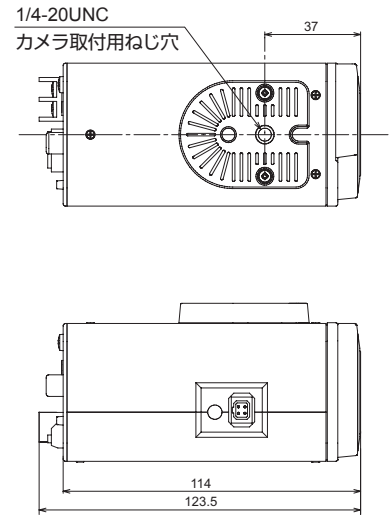
SDカードの取り扱いについては、[取扱説明書(SDカード機能設定編)]にも記載していますので、ご使用の際は、本書と合わせてご確認ください。

こんなときは

症状	原因と対応
ネットワーク画像の動きがぎこちない	・モニター画像の出力設定がONの場合、ネットワーク画像のフレームレートは低い設定となります。 ・モニター画像出力をOFFにし、フレームレートを再度設定してください。(☞[取扱説明書(設定編)] → 「Internet Explorerを使った設定」－「エンコードページ」)
モニター画像が出力されない	Internet Explorerによる設定でOFFになっていませんか？ モニター出力設定をご確認ください。
外部マイク音声が聞こえない	・マイクとの接続をご確認ください。 ・音声の設定がOFFになっていませんか？(☞[取扱説明書(設定編)] → 「音声ページ」)
レンズのフォーカスが合わない	・フォーカスアジャストギアはかみ合っていますか。つめの位置をご確認ください。(VN-H137) ・CSマウントのレンズを確認してください。(VN-H57、VN-H37) ・バックフォーカス位置初期化を行った後(☞[取扱説明書(設定編)] → 「フォーカス調整ページ」)、再度フォーカス調節を行ってください。(VN-H57)
SDカードが入らない	SDカードの向きを確認してください。

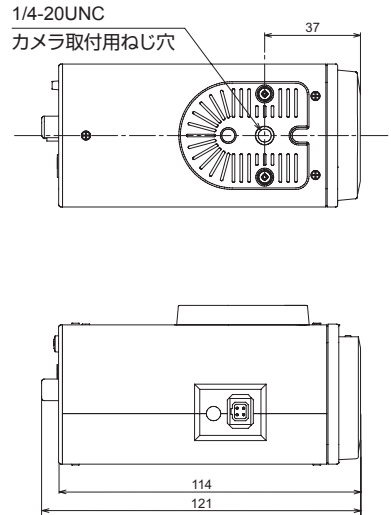
VN-H57

外形寸法図(単位: mm)



VN-H37

外形寸法図(単位: mm)



仕 様

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

	VN-H57	VN-H37	VN-H137
カメラ部	撮像素子	1/3 型正画素プログレッシブスキャン方式CMOS(原色フィルタ)	
	有効画素数	約2,120,000 画素 1944 (H)×1092 (V)	
	レンズマウント	CS マウント	-
	適合レンズ	弊社カタログ参照	-
モニター出力	最低被写体照度	(F1.2、50 %、AGC High、1/30 s) カラー : 0.3 lx (typ.) 白黒 : 0.03 lx (typ.)	(50 %、AGC High、1/30 s) カラー : 0.3 lx (typ.) 簡易デイナイト : 0.25 lx (typ.)
	75 Ω、1.0 V(p-p) NTSCまたはPAL(スイッチ切換)		
	入力	ミニジャック(φ3.5ステレオR ch)、プラグインパワー方式のマイク接続可能	-
	基準電圧	DC2.47 V(typ.)	-
音声入力	インピーダンス	2.2 kΩ(typ.)	-
	音声出力	ライン出力 200 Ω、最大 1.9 V(p-p)、ミニジャック(φ3.5ステレオL ch)	-
	画像圧縮フォーマット	JPEG、H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile、MPEG-4	
	フレームサイズ	1920 × 1080 1280 × 960 1280 × 720 640 × 480 640 × 360 320 × 240	
ネットワーク出力	音声圧縮フォーマット	G.711 μ-Law(64 kbps)、AD/DA 16ビット、Fs = 8 kHz、モノラル	-
	ネットワークインターフェース	RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T/FULL/HALF/オートネゴシエーション対応	-
	アラーム入力	無電圧a接点入力、PNPオープンコレクター入力、ローレベル、ラッチ/モーメンタリ(500 ms以上)(ローレベル時回路電流1 mA、ハイレベル時印加電圧3.3 V)	-
	アラーム出力	NPNオープンコレクター出力(許容印加電圧DC16 V許容流入電流30 mA)	-
アラーム記録		16 MB	
レンズ	焦点距離	-	f = 2.8 mm ～ 10.5 mm
	最大口径比	-	F1.2 (f = 2.8 mm) ～ F2.6 (f = 10.5 mm)
	絞り範囲	-	F1.2 ～ F360
	ズーム比	-	3.75 倍
LAN規格	規格	IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3af準拠	
	通信プロトコル	TCP/IP、UDP/IP、FTP、ICMP、ARP、DHCP、SNTP、HTTP、SMTP、RTP、RTSP、IPv4、IPv6、DSCP、HTTPS、SNMP	
総合	電源電圧	AC24 V 50 Hz/60 Hz またはPoE(DC-48 V)	PoE(DC-48 V)
	消費電流	AC24 V 0.5 A、PoE 150 mA(7.2 W)	120 mA(PoE)
	周囲温度	-10℃～50℃(動作) 0℃～40℃(推奨)	
	周囲湿度	20 %RH～90 %RH(結露なきこと)	
	質量	約360 g	約340 g
SDカード(別売)	ファイル形式	H.264独自フォーマット	
	記録サイズ	最大 1920 × 1080 (フレームサイズ)	
	記録画質	ビットレート最大 1 Mbps	

VN-H137

外形寸法図(単位: mm)

